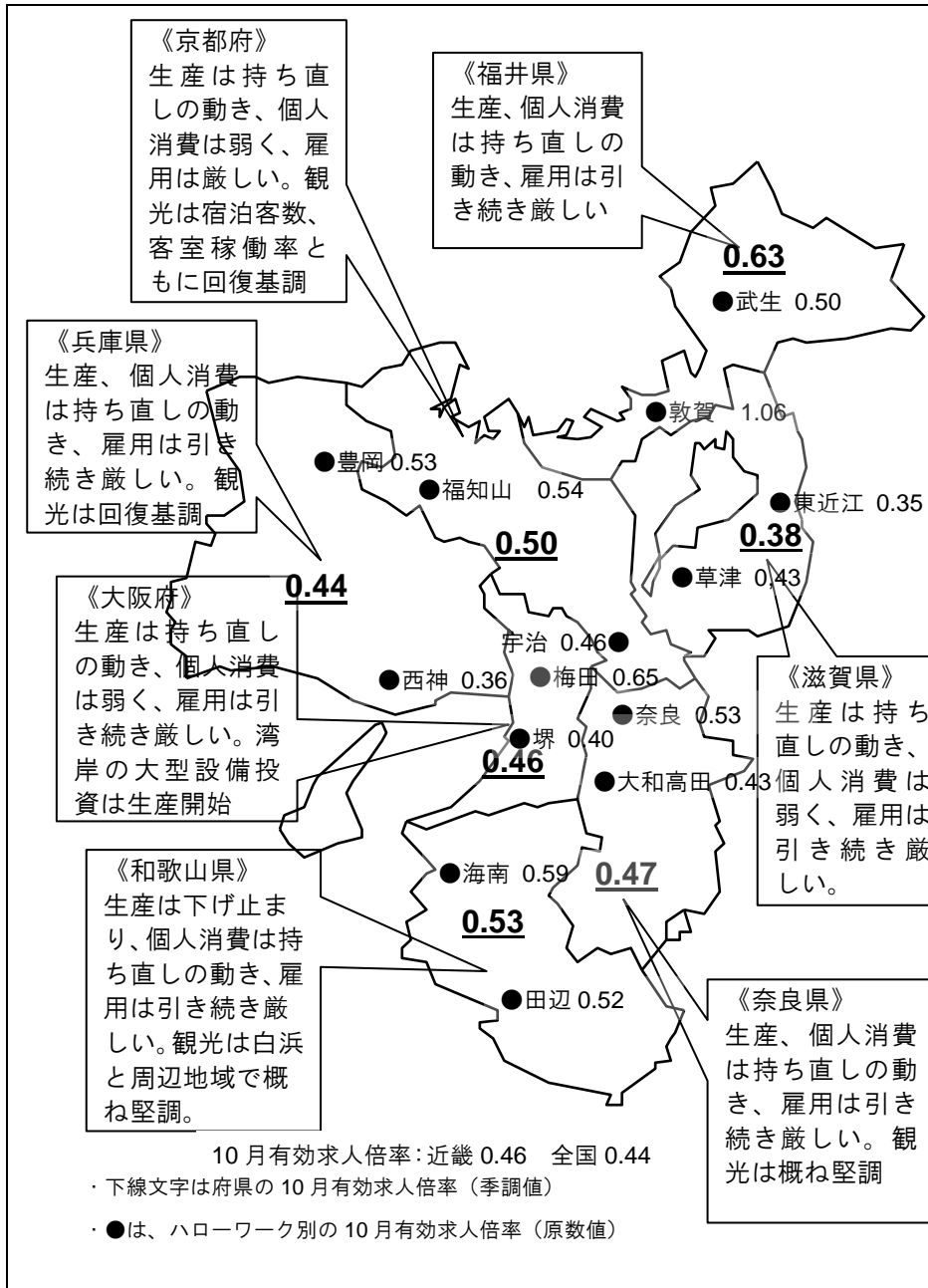


# 近畿経済産業局管内の経済動向

資料1



近畿地域の経済は、低迷しているものの一部に持ち直しの動き。

## 1. 全体の動向

中国を中心とするアジア地域の需要を背景に、素材(鉄鋼、化学)、電子部品等を中心に輸出及び生産は持ち直しの動きが続き、個人消費も経済対策により一部に持ち直しの動きがみられるが、何れも水準は低く、設備投資は大幅に減少、雇用は厳しい状況が続いているなど総じて低迷している。

## 2. 個別の動向

### (1)生産 ～持ち直しの動き～

水準は低いものの、中国を中心としたアジア向け輸出の持ち直しや経済対策による自動車、薄型テレビ、太陽光発電関連などの需要増で、電子部品・デバイス、輸送機械、鉄鋼、化学等で持ち直しの動きが広がっている。

### (2)設備投資 ～総じて大幅に減少～

薄型ディスプレイ、電池関連の大型案件等が継続し環境等特定分野への戦略投資や研究開発投資は見られるが、企業収益の大幅な減少と設備過剰感、円高等による海外拠点化の進展等から幅広く減少し、総じて抑制色が強い。

### (3)雇用情勢 ～厳しい状況が続いている～

新卒採用の抑制により人員削減を行う企業が多くみられた。雇用調整助成金等の届出件数は中小企業を中心に依然高水準で推移しており、一時的な要員不足は配置換え等でまかなうため、新規求人は低水準で推移。

### (4)個人消費 ～一部に持ち直しの動き～

経済対策により薄型テレビや自動車等では持ち直しているものの、雇用・所得環境の悪化と価格競争の激化から多くの商品・サービスで単価下落が続き、百貨店・スーパー等の販売額は低迷している。

## 3. 地域経済のトピックス

○今後の見通しは厳しい中で、大企業は環境関連や医療関連の研究開発は積極的な姿勢が見られる。中小企業も研究開発の意欲は高いものの、資金繰りや経営の悪化により抑制色が強くなっている。

○管内団体の中小企業資金調達調査では、11月下旬時点で十分な越年資金を確保出来ていないが23.2%、調達目処さえ無いが26.6%あるとしている。